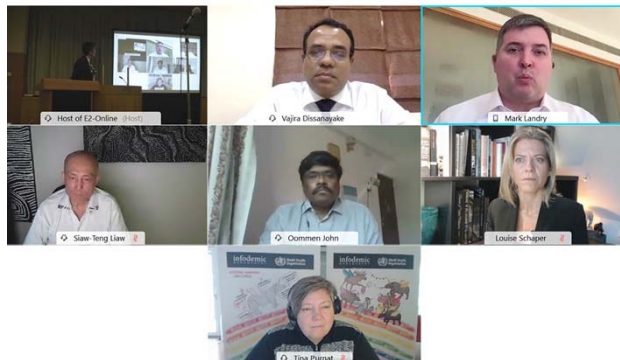

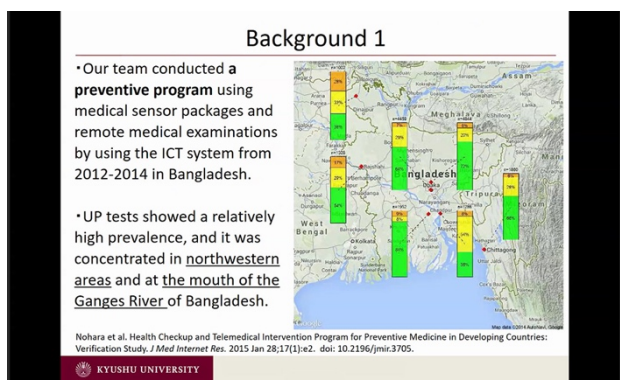





<p>【イベント名】 第11回国際医療情報学連合アジア太平洋支部学術集会 (APAMI 2020)</p>	<p>【概要】 APAMIは隔年開催の国際学会で、COVID-19のパンデミックにより今回はオンラインとオンサイトの両方で参加するハイブリッド形式での開催となった。ハイブリッド形式での開催は初めてで成功するか不安は非常に大きかったが、テクノロジーの恩恵と技術スタッフのサポートにより全く滞ることなく進めることができた。画質・音質ともに素晴らしく進行もスムーズだった。唯一の問題は時差で、参加者のなかには夜中に参加せざるをえない方もいた。</p>
<p>【期日】 2020.11.21</p>	
<p>【会場】 アクトシティ浜松 (日本), デューク大学 (アメリカ合衆国), 九州大学病院 (日本), 奈良学園大学 (日本), 台北医科大学 (台湾), 長崎大学 (日本), 宮崎大学 (日本), マレーシアサバ大学 (マレーシア), 東北大学 (日本), インド ジョージ国際健康研究所 研究者自宅: ニューデリー (インド), 兵庫県立大学 明石キャンパス (日本), 九州大学病院 研究者自宅: ニューヨーク (アメリカ合衆国)</p>	
	
<p>モニターに表示された接続施設。</p>	<p>メイン会場の様子。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：アクトシティ浜松</p>
	
<p>提示されたスライド。</p>	<p>APAMI Bursary Awardの授賞式。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>発表する参加者 (右上) と座長 (下)。</p>	<p>メイン会場での事務局の集合写真。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：アクトシティ浜松</p>